

● 移動式発破防護バルーンの仕様



走行状態

名称	移動式発破防護バルーン
対応断面	小断面～100m <sup>2</sup> 程度
ベース車両	4tトラック（ショートベース） 2tトラック（小断面時）
重量	約3ton（車両重量除く）
バルーン仕様	防爆シート、アラミドシート、ナイロンシートによる特殊3層構造
バルーン展開時間	約3～4分程度（車両移動時間は除く）
撤収時間	約3分程度（車両移動時間は除く）
切羽からの設置距離	15m～50m（基本30m） （1回あたりの発破の火薬量による）

● 実績

100m<sup>2</sup>仕様



新幹線仕様



実績	新幹線トンネル工事（北海道） 新幹線トンネル工事（北海道） 新幹線トンネル工事（長崎） 道路トンネル工事、50m <sup>2</sup> （北海道） 道路トンネル工事、60m <sup>2</sup> （広島） 道路トンネル工事、100m <sup>2</sup> （岩手） 道路トンネル工事、100m <sup>2</sup> （岩手） 道路トンネル工事、100m <sup>2</sup> （岩手） 道路トンネル工事、100m <sup>2</sup> （福井）
----	--



移動式発破防護バルーン

お問い合わせ先はこちら



**ジオマシンエンジニアリング株式会社**  
Geo-Machine Engineering Corporation

本社： 〒116-0001 東京都荒川区町屋1-19-1  
 技術開発センター： 〒300-1204 茨城県牛久市岡見町74-4  
 TEL 029-875-6007 FAX 029-875-6105

●カATALOGの内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。 ●カATALOGの写真や色は印刷により若干異なる場合があります。

# 発破の飛石から設備・機械を守る。 バルーン展開は3～4分程度で完了します。

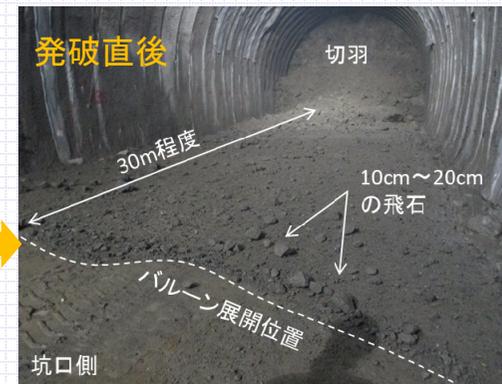
## ○移動式発破防護バルーンとは

移動式発破防護バルーンは、トンネル坑内における発破時の飛び石を切羽付近に封じ込めるための装置です。本装置は、飛び石を切羽付近に封じ込める隔壁となるバルーン部と、バルーン部を効率的に展開・収納するためのフレーム部により構成されています。また、本装置は2tトラックまたは4tトラックに搭載できるようにして、任意の位置にトラックで乗り付けて簡単に展開・収納することが可能な仕様としています。

発破作業時に本装置を切羽付近に設置することで、飛び石の影響を切羽付近に限定させることができます。これにより、連続ベルトコンベヤシステム等の掘削ずりの搬出設備を今までより切羽に寄せて配置することが可能となり、ずり処理時間を大幅に短縮させることが期待されます。

## ○設置が簡単、約3～4分でバルーン展開・撤収が可能です

## ●移動式発破防護バルーンの効果



## ●移動式発破防護バルーンの使用例

クラッシャーの設置距離を切羽に近づけることが可能となり、ズリ出しのサイクルタイムの短縮を向上させることが可能です。

